



小学校の運動会の練習の見学に行ってきました！



信号もルールを守って渡れるようになったよ～



すごい！自分たちだけで隊形移動してる！1年生のダンスと玉入れを見せてもらいました



最後に小学校のお兄ちゃんお姉ちゃんにあたたい一言メッセージ「かつこよかった」と伝える5歳さん！1年生にとっても「見てもらって、自信になった」とおっしゃっていただきました！



大好きなおばけの世界を楽しむ3歳児。一人ひとりが表現する姿にご注目♡(3歳)



見ごたえのあるバルーンに全員で挑戦！その他のプログラムは自分で選び、自分で決めた種目に出場！こども園最後の運動会、楽しみます♡(5歳)



もうすぐ、幼児の運動会！



自分で選んだ運動遊具2つに挑戦します！ハリハリのダンスショーは、普段から踊りまくっているのだからキレッキレですよ～♡(4歳)



運動会といえば、『練習の成果を見せる日』というイメージを多くの人が思い浮かべると思います！！みんなで一つのことをやり遂げる達成感や子どもたちの成長への実感、保護者の方にとっても我が子の頑張りが目に見えてわかる貴重な機会ですね。

一方、実は私たち保育者が感じてきた課題もあり、最初は喜んで参加していた子どもも日を重ねていくと「今日もやるの？」と気分がのらなかったり、当日会場の雰囲気や大勢の人たちの視線に緊張して固まってしまう姿もありました。

そこで、今年は「例年やっているから…」で済ませず、子どもたちの思いに寄り添い『子どもたち自ら考えて動く』ことを大切にしています。子どもたちの“やってみたい”を形にし、主体性を大切にしたい運動会、そして、運動会が特別な行事ではなく、いつもの保育の延長線上かつ、志紀おおぞらこども園のスローガンでもある『安心と挑戦の循環』を土台に、子どもたちの“やってみたい”の輪が広がっていくことをめざして、楽しんで取り組めるようにしています。ぜひ、これまで志紀おおぞらこども園の先生たちが大切にしてきた保育や運動会に向けてのプロセスを思い浮かべながら、当日ご覧いただけたらと思っています。そして、お家の人も一緒にいっぱい笑顔あふれる日にしましょう。